

JR津田沼駅南口開発の進展に伴う児童増加対応について 谷津幼稚園保護者対象説明会 議事要旨	
開催日時	平成25年9月26日(水) 9:30~11:30
場 所	谷津幼稚園遊戯室 65名
出席者	[市教育委員会] 辻学校教育部長、市瀬学校教育部参事、島本学校教育部主幹

島本主幹 (資料に基づき概要説明)

保護者1 津田沼小が通学区域変更対象となっていないのは何故か。

島本主幹 今回の通学区域を変更した場合の対策は、前提の一つとして、将来に余裕教室が見込まれる学校としており、津田沼小は、自然増として建替後の校舎24教室を全て使用する推移であることから、のぞいている。

保護者1 屋敷公民館などの統合を新聞で見たが、市のインフラ整備はどのように取り組んでいくのか。

島本主幹 現在、市では公共施設の再生に向けた計画策定に取り組んでいる。その中で、大久保地域の施設再編として大久保公民館、市民会館の施設更新にあたり、周辺施設の統合を視野に入れており、このことについて説明会等開催したところである。
学校施設を含む124の公共施設をどのように維持更新をしていくか、財源的な面を含め取り組んでいく計画を25年度末を目途に策定しようと考えている。

保護者1 高学年分離事例として、千葉市の例を挙げたが、新宿小と新宿中では、本市の場合と比較して、距離や安全面で違うのではないか。

島本主幹 千葉市と本市では、距離的にはさほど変わらない。安全面に関しては、千葉市では国道(6車線)を横断するにあたり、既に陸橋整備されている状況にある。

- 保護者1 スポット的な通学区域の変更案は、他市等事例はあるのか。
- 島本主幹 スポット的な通学区域の変更事例は、船橋市や都市部には見られる。
- 保護者1 第一中学校の通学区域変更はないのか。
- 島本主幹 第一中学校も今回の推計結果から、教室不足が生じる推移であるが、現段階においては施設の増設による対応として、通学区域を変更する考えはない。
- 保護者1 子どもが谷津南小に通っているが、東日本大震災で液状化し現在は、一次避難場所としてグラウンドではなく、昇降口となっている。その後、谷津小方面へと移動する避難計画になっているが、児童が増えた場合には昇降口で対応できるのか。
- 島本主幹 各校の避難計画は、それぞれ実情に即して計画されている。仮に通学区域変更となった場合には、谷津南小学校も児童数は増えることとなり、改めて、避難計画は検討する必要があるものと考えている。
- 保護者1 こども園構想に関し、管轄が違うのかもしれないが、幼稚園を移転し、また、こども園ができて通園先が変更になることも考えると、子どもがかわいそう。
- 島本主幹 こども園構想に関しては、こども部で検討している。基本的には、中学校区に一つのこども園整備を行う。谷津地域に関しても一つ必要となるが、この児童増加対応の対策が決定していないことから、現状ではどこに設置するかは流動的となっている。
- 保護者1 谷津幼稚園の移転は、向山幼稚園と谷津幼稚園の看板がたつのか。それとも、谷津・向山幼稚園の看板なのか。それぞれ園には、歴史もある。
- 島本主幹 それぞれの園の歴史や伝統があることは承知している。今回の児童増加対応として、谷津幼稚園の一時移転に関しては、向山小・向山幼・谷津幼の3施設が同一敷地内で運営するイメージである。ただし、最終的に移転を決定した際には、幼稚園の運営上の観点から精

査を行う必要があるとこども部と確認している。

保護者2 対策案について全ての人が賛同して決まることは考えられない。どのように判断するのか。

島本主幹 今回の児童増対応に関して、全ての方に賛同いただける対応はできないと考えており、意見を伺う中で、より良い対策としていきたい。最終的には、皆さんの意見を勘案する中で、教育委員会で決定していくこととなる。

保護者2 徒歩通学の距離として4kmというが、スクールバスの導入も検討して欲しい。

島本主幹 国の基準として、小学校は4km以内とされているが、山間部と都心部を含め国基準であると認識している。また、本市では東習志野地区で2.3kmが最長の通学距離と考えているが、今回の対策に際しては、同じ2kmでもアップダウンを考慮すべきとの意見も頂いている。

保護者3 現段階で本当に「この案」というものがない（決まっていない）と思っているのか。

島本主幹 現段階、皆さんに意見を伺っている段階であり、全ての案を並列として考えている。

保護者4 徒歩に関し、距離（4km）と言わずに安全を第一に考えた策を示して欲しい。

保護者5 案を出してもらうことは良いのだが、教室数だけでなく安全対策なども共に示して欲しい。

保護者6 幼稚園の移転というだけでなく、安全対策も講じる説明をしてほしい。

島本主幹 次回説明時には、安全対策としての考え方はお示ししたい。

- 保護者7 対策案3の併設小学校だが、平成27年度に学区を変えて、併設小学校の建設に間に合うのか。
- 島本主幹 平成27年度に併設小学区以外の通学区域を変更し、その後、平成30年度を目途に校舎完成をさせ、一つの小学校区としようとするものである。
- 保護者8 未就園児の保護者の意見はどのように対応するのか。
- 島本主幹 今後、10月中旬以降に地域での説明会を予定している。
- 保護者9 安全対策を先に講じるべきで、踏切の解消策として歩道橋などではできないのか。また、学区変更により、谷津1丁目エリアから通学する子どもが増えた場合、今の道路（歩道）では狭いのではないか。
- 島本主幹 踏切横断に際し、歩道橋の設置などは現況から困難であるものと考えており、歩道も狭い状況の中でどのように安全対策を講じるか検討しなければならない。
- 保護者10 谷津幼稚園の移転に関し、谷津・向山の幼稚園がそれぞれ同一敷地で運営した場合、運動会やお祭りなどの行事を各々園児が見ることによる弊害もあるので、移転ではなく統合が良い。
- 保護者11 谷津小の使用可能教室として放課後児童会2室とPTA・教材室1室があるが、これらを使用することは検討してきたのか。
- 島本主幹 検討してきたが、3室を確保しても、その後に不足が生じる推計結果であり、放課後児童会室も現2室では不足が生じることも考えなければならないことから、現段階ではこの3室を除き、教室不足を検討している。
- 保護者11 小学校は、学びの場で放課後児童会は図書室を共用して運営をするなどできないのか。（午前3時以降からの使用するのが放課後児童会）日中空いている教室となるのはもったいない。幼稚園の園長保育も園児が多い日などは保育室も使用したり、絵本の部屋を使用したりしている。市、国など決まりがあるのか。

- 島本主幹 放課後児童会に関しては、国基準があり、相応の居室整備が必要であり、共用はできない。
- 保護者 1 2 放課後児童会も増えるのだから、谷津 CC や CC 前公園で対応しても良いのではないか。
- 島本主幹 現行、放課後児童会室は、学校敷地内を基本としている。また、谷津 CC 前は公園の位置づけであり、法令面から難しい。
- 保護者 1 3 谷津小の建替えは2階建てが限度か。
- 島本主幹 現行の用途地域（第一種低層住宅専用地域）では、許可を得て3階が限度である。
- 保護者 1 4 基本案を含む対策案は横並びとして考えて良いか。
- 島本主幹 御意見を伺っているところであり、全て横並びである。
- 保護者 1 5 谷津小56学級 児童 1,900 人の規模は事例としてあるのか。
- 島本主幹 1,900 人、56 学級規模は事例としてはないのではないか。
- 保護者 1 6 6 年生の保護者であるが、谷津小は縦割り活動が非常に良いとの印象で、自発的に高学年が低学年の面倒を見る状況がある。だから、高学年分離は考えられない。
- 保護者 1 7 通学路（向山へ）実際歩いたとの話だが、子どもは、猛暑・雨の中でもランドセル、手荷物で歩いている。その上、エアコンのない教室でも学習している。実際にあるくのなら、そのぐらい想定し歩いてもらいたい。
- 保護者 1 7 参考案（奏の杜のみを向山へ）に関して、向山小への負担が大きい一言では済まない。
- 保護者 1 8 幼稚園も小学校も現行通りの策を考えていたが、例えば、小学校職員室前にプレハブを建て、運動会などは一中を使用する。放課後児

童会は谷津幼稚園の保育室を使用する。との策はできないものか。

保護者19 以前、公立幼稚園のある習志野市だから転入してきた。谷津幼稚園と谷津小学校のつながりなど習志野のすばらしい点がなくなることは避けられないのか。

保護者20 5・6年生の分離は賛同しがたいが、通学区域変更も難しい中で奏の杜の街ができ交通量も増えるなど安全面が非常に気になる。

保護者21 全てを現行のままとした場合、近隣公園予定地に学校を建てることはできないのか。

島本主幹 近隣公園予定地に学校建設は、法令面から難しい。

保護者22 谷津小の現状として、今回の増築により北校舎は日当たりが悪くなったことや老朽化という点から施設の更新について前倒し対策を講じてほしい。

保護者23 学校や幼稚園に近いから今の場所を選び住んでいる。

保護者24 船橋市はスクールバスを走らせている。

島本主幹 船橋市のスクールバスは、市で導入しているものではなく、事業者による地域巡回バスを登下校時間帯に、学校を經由させているものであると聞いている。

保護者25 高学年分離の場合、5・6年生と中学生が近く、そのような環境に対し、非行性など危惧する点が多い。

保護者26 逆に1・2年生を分離して中学生とした場合のデータもあるのか。

島本主幹 データとして、本日は持っていないが、中学への進学2年前に着目した対策であることをご理解いただきたい。